

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所
162-0805 東京都新宿区矢来町65
電話 03(5228)3171 FAX 03(5228)3175
発行者 総主事 司祭 三鍋 裕

G8 諸宗教サミットに向かって

管区事務所総主事 司祭 ローレンス 三鍋 裕

世界宗教者平和会議(WCRP)という活動があります。文字通り諸宗教の人々が、違いを乗り越えて平和のために活動します。多くは仏教系、神道系の方々ですが、日本聖公会からも首座主教が理事として、京都教区主教が評議員として参与され、私も非武装和解委員会の副委員長を務めております。一昨年京都での世界大会で採択された「京都宣言」にもとづき、宗教者だけではなく政界や経済界の人々とも連帯して平和を求めて行こうとしています。

今年北海道で行われるG8首脳会議に合わせて「世界宗教者サミット」の開催が計画され、先日その事前学習会としてパネルディスカッションが行われました。私は日本側代表としてパネリストに加わりました。パネリストはレオニド・キシコフスキー(WCRP国際実務議長、米国)、シェイク・シャバン・ムバジェ(ウガンダイスラム最高協議会指導者・アフリカ宗教指導者協議会副議長、ウガンダ)、メラージア・ラビディ・イマサ(女性の向上と代表協会事務局、フランス)、ヴァクタンク・キプシジェ(ロシア正教会モスクワ総大主教外務部、ロシア)、マーティン・アフォルデルバッハ(ドイツ福音派教会主教代理、ドイツ)の方々和私でした。

以下に記すのは私の発題のテープを起こして下さったもので、話し言葉のままですので読みづらいでしょうがお許しください。活動の一環のご報告です。私たちも信仰者として力ある者へも、お互いへも、そして自分自身に対しても平和のアピールを発信し続けたいと願います。

(WCRP2008年新春学習会)

大きなテーマをいきなり頂戴致しましたので戸惑っておりますが、核の問題、核廃絶の問題、それから日本でもいいますと、私たちが経験した広島、長崎の悲惨な記憶などから私たちが考えるわけであります。

私自身は3年ほど前に、核拡散防止条約、これはNPTと言われている条約の再検討会議というのが何年かに一遍開か

会議・プログラム等予定

(前回報告以降追加
および2月25日以降)

- 2月
11日(月)~12日(火) 聖公会国連女性会議準備会
22日(金) 渉外主査会(延期)
24日(日) 青年委員会
25日(月)~26日(火) 文書保管委員会、翻訳打合せ会
26日(火)~28日(木) 主教会(神愛修女会)
- 3月
2日(日) 正義と平和・日韓協働プロジェクト
3日(月) 正義と平和・宣教協議会企画プロジェクト
4日(火) 正義と平和・憲法プロジェクト
4日(火) 教区制改革委員会
4日(火) 神学教理委員会
4日(火) 聖公会/ルーテル教会協議会
4日(火) 宣教150年記念礼拝実行委員会
6日(木) 管区共通聖職試験委員会
10日(月) 正義と平和委員会
11日(火) 主事会議
13日(木) 法規委員会
17日(月) 礼拝委員会
25日(火) 教役者遺児教育基金・建築金融資金運営委員会
27日(木) 財政主査会
- 4月
2日(水)~4日(金) 新任研修会(狭山)
8日(火) 収益事業委員会
8日(火) 主事会議
11日(金) 会計監査
16日(水) 常議員会
22日(火)~24日(木) 人権担当者協議会(草津・栗生楽泉園)

<関係諸団体会議等>

3月3日(月) キリスト教文書センター評議員会

* * *

3月21日(金) は受苦日のため、管区事務所業務を休みます。

れまして、その傍聴にニューヨークに行っておりました。その時に初めてこの核拡散の条約について、恥ずかしながらその時初めて勉強したのですけれども、どうもおかしいんですね。既に核、核兵器を持っている国は順番には減らしなさいと。でも持っていてよろしいよ、と。で、まだ持っていない国は作っちゃいけない、と。こんな条約ってあるのかなという思いがあります。

あまりいい例じゃありませんけど、私がタバコを吸いながら、他の人にタバコは健康に悪いから止めろと言っているような話じゃないかな、と—そういう気がするのです。

ただ専門の先生に聞きますと、東西冷戦の時期を含めて、やはりこの核不拡散条約というものはそれなりの成果があったのだという評価を聞いたこともあります。しかし私自身はやはり、少し奇妙な条約で、そしてどれほどの効果があるのかと思うのです。残念ながら核兵器は減りませんし、それから核兵器を持つ国が、あるお国はおおびらに、あるお国はこっそりと増えている現状がありますので、私たちはこの条約を大事にしたいと思いますが、むしろ私たち自身の声のほうで核兵器をなくすのに、より力強いのではないかなという思いがあります。

そして、この私たちのWCRPのお仲間の中から出てくる声でいいますと、その仰々しい条約ではなくて、WCRPは西暦2020年までに核兵器を廃絶することを目指した広島市長、長崎市長を中心に世界に進められている「ビジョン2020」を支持するべきであると思います。核兵器を減らしていくのではなくて、ある国は持っていて、ある国は持たないという話ではなくて、廃絶することが私たちの願いであると思います。

それで、これは大変恐縮なことですが、私自身のことを述べさせて頂きますと、世界にもものすごい数の核兵器がありながら、長崎以降、実際問題としては一回も使われていないというこの事実は、やはり広島や長崎で起こった悲惨さを日本から世界中に発信し続けた結果、これはうかつに使うと逆にものすごい非難を受けるといふ意味での、核保有国に対する強い防止

力として働いたのだと私は思っております。

で、私事と言いますのは、私の父も母も兄も姉も全部広島の被爆者です。父と兄は戸外におりましたのでかなりひどいやけどを負いました。しかし、年とともにきれいになりました。そしてそれなりに長生きも致しましたが、やはりそれは被害者ですね。同時に父は陸軍船舶司令部、これ暁部隊とも言うらしいんですけども、何をするとどこかと言うと、アーミー・ SHIPPING・ユニットと言ったほうが分かりやすいと思うんですけど、広島というのは軍都ですからね、その広島市の南は宇品という軍港があったわけです。そこから兵員と戦略物資を送り出すわけです。私の父は陸軍中佐待遇で身分は市民ですけど、囑託でその仕事に携わっておりました。逆に言いますと、父はもちろん悪い人間じゃありませんでした。けれども、兵士と軍事物資を海外に送って、そしてそこで戦わしめた、この責任の一端を当然負っているわけです。被害者であり、同時に加害者であった。その人生を私は受け継いでいると思う。ですから、広島、長崎の悲惨さを訴えるその大切さと同時に、本当の平和を求める働きをも私たちは受け継いでいるのではないのでしょうか。ただただ被害者の立場から大声を出しているだけでは、本当の平和はやってこないだろうと。むしろ、なぜあのような戦争が起こったのか、その中に広島、長崎があり、東京大空襲があり、そして日本が主にアジアにおいて犯した数々の誤りがあった。それらをすべて見つめなおして、私たちはもう一度、一から平和を作り出していきたいよ、というメッセージが核廃絶につながる市民の力強いメッセージではないでしょうか。

その戦争の原因は、今パネリストの先生方が既に本当に心からおっしゃっておられますように、自分さえ良ければよいという思いが、争いの原因ではないのでしょうか。そして、つくられたのちに対する尊敬を、つくられた大自然に対する尊敬を、そして大自然から与えられる大地の恵みを分かち合う喜びを、その一つ一つに対する尊敬を私たちの心の中に回復することを願い、

また訴えるのは私たち宗教者の務めだと思います。

札幌でしたか洞爺湖でしたかG8サミットが行われます。私たちはその人たちにメッセージを送ろうと今準備しているわけです。私たちはどのように力強い国の、どのような偉い指導者が来ても、私たちは経済学者でもない、政治家でもない、まして軍人でもない。しかし、宗教者としての立場から、皆さん、もう一度いのちの大

切さを回復いたしましょうよと、分かち合うことの喜びをもう一度取り戻しましょうよという、宗教者としてのメッセージ、そして私たちはこれ以上力強いメッセージはないと信じているんです。

どうぞ、ご一緒頂いて私たちにしかできない務めを果たして参りたいと思います。終わります。



常議員会

第56(定期)総会後第7回 2月14日(木)
決議事項

1. 宗教法人「日本聖公会九州教区」規則一部変更の件 承認
2. 管区事務所職員給与昇給の件 承認

主事会議

第56(定期)総会期第17回 2月12日(火)
主な協議事項

1. 史料室の書架増設について
- 次回以降の会議

3月11日(火)、4月8日(火)

各教区

北関東

- ・ 聖職按手式 2月16日(土)10時半 志木聖母教会 司祭按手 志願者:執事ミカエル 浅見卓司
- ・ 北関東教区2008年信徒一致の日合同礼拝 4月29日(火)立教学院聖パウロ礼拝堂(志木)テーマ:「差別の無い共生を求めて」(仮)司式:広田勝一主教 説教:木村直樹司祭

東京

- ・ 第106(定期)教区会 3月29日(土)9時 聖アンデレ主教座聖堂・聖アンデレホール

大阪

- ・ 1月27日(日)第98(臨時)教区会—教区主教選挙 3人の候補者が推薦され、30回の投票が行われたが当選者は得られなかった。このため、法規により、日本聖公会総会で大阪教区主教選挙が実施される。

沖縄

- ・ 聖職按手式 3月20日(木)10時半 北谷諸魂教会 司祭按手 志願者:執事モニカ 石原絹子

神学校

聖公会神学院

- ・ 2007年度卒業礼拝 2008年3月1日(土) 14時 聖公会神学院諸聖徒礼拝堂

立教学院奨学金についてのお知らせ
立教学院では、1998年度から「聖公会教役者の子及び聖公会神学院校長の推薦する大学院学生に対する立教学院奨学金規程」を制定しており、聖公会教役者の子で、立教学院の各学校の児童、生徒・学生に対して奨学金を交付しております。つきましては、次年度対象となる方がいましたら、申請されますようお願いいたします。

なお、申請の受付は小学校、池袋中高、新座中高は各校事務室、大学は財務部でおこなっており、締め切りは4月末日です。

説教：主教加藤博道(聖公会神学院校長代行)

スチン與賀田光嗣(神戸)

ウイリアムス神学館

† 逝去者 靈魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

・2007年度卒業式 2008年3月13日(木) 11時 京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会) 説教：主教植松 誠 卒業予定者：ヨハネ池田亨(北海道)、アントニオ出口崇(京都)、ヨシユア長田吉史(神戸)、オーガ

司祭 ジェローム 沢 邦介(東京教区・退職、元正本保管委員長) 2008年2月2日逝去(80歳)

公示

日本聖公会第57(定期)総会を下記のように招集します。本総会の会期中に、大阪教区主教選挙を行います。

救主降生2008年2月20日
日本聖公会総会議長
主教 ナタナエル植松 誠

記

日時：2008年5月27日(火) 午前10時から
5月29日(木) 午後5時30分まで
場所：日本聖公会センター(東京教区牛込聖公会聖バルナバ教会)
162-0805東京都新宿区矢来町65番地

以上

2007年教区会選出総会代議員

北海道	聖職	ペテロ大町信也	コルベ下澤 昌
	信徒	ヨハネ沖田紀夫	アンデレ遠藤淳治
東北	聖職	フランシス中山 茂	フランシス長谷川清純
	信徒	ヨハネ小貫晃義	ヨセフ長井 淳
北関東	聖職	サムエル輿石 勇	エレミヤ・パウロ木村直樹
	信徒	マルコ谷川 誠	パウロ横川 浩
東京	聖職	テモテ河野裕道	マリア山野繁子
	信徒	アブラハム松田正人	パトリック山田益男
横浜	聖職	マルコ河崎 望	シモン長野 睦
	信徒	テモテ中林三平	ダビデ倉石 昇
中部	聖職	サムエル大西 修	テモテ野村 潔
	信徒	アンデレ日野忠市	ステパノ阿部力治
京都	聖職	ヨハネ黒田 裕	テモテ宮嶋 眞
	信徒	グレゴリー松本嘉一	アイネ佐々木靖子
大阪	聖職	ペテロ齊藤 壹	ペテロ岩城 聡
	信徒	フランシス佐野信三	アンデレ槻本邦夫
神戸	聖職	ヨハネ芳我秀一	ミカエル小南 晃
	信徒	インマヌエル大東康人	ヨセフ藤谷正一
九州	聖職	パウロ濱生正直	キャサリン吉岡容子
	信徒	ペテロ蔵元英一	ヨセフ秋山献之
沖縄	聖職	ミカエル津留孝夫	ミカエル棚原恵正
	信徒	アンデレ富本盛彦	グレース新崎久美子

第57(定期)総会期書記 2008年2月20日付任命

書記長 司祭 ヨハネ相澤牧人(横浜)

書記 司祭 ラファエル宮崎 仁(横浜)、司祭 ルカ片山 謙(横浜)、司祭 ハンナ石坂みゑ子(東京)、司祭 ヨセフ下原太介(中部)、執事 クララ佐久間恵子(東京)

《人 事》

東京

主教 ペテロ植田仁太郎	2008年3月31日付	聖パウロ教会管理牧師解任
司祭 パウロ田光信幸	2008年3月31日付	小金井聖公会牧師解任
		渋谷聖公会聖ミカエル教会管理牧師解任
	2008年4月1日付	聖マーガレット教会牧師任命
司祭 バルナバ前田良彦	2008年3月31日付	牛込聖公会聖バルナバ教会管理牧師解任
司祭 テモテ吉野秀幸	2008年3月31日付	聖愛教会牧師解任
	2008年4月1日付	小金井聖公会牧師任命
司祭 ヨハネ山口千寿	2008年3月31日付	聖マーガレット教会牧師解任
		大森聖アグネス教会管理牧師解任
	2008年4月1日付	聖パウロ教会牧師任命
		東京聖マリア教会管理牧師任命
司祭 エドワード鈴木祐二	2008年3月31日付	東京聖マリア教会管理牧師解任
	2008年4月1日付	聖愛教会管理牧師任命
司祭 ハンナ石坂みょう子	2008年3月31日付	渋谷聖公会聖ミカエル教会副牧師解任
	2008年4月1日付	牛込聖公会聖バルナバ教会牧師任命
司祭 グレース神崎和子	2008年3月31日付	大森聖アグネス教会副牧師解任
	2008年4月1日付	大森聖アグネス教会牧師任命
司祭 ビード李 民洙	2008年3月31日付	聖パウロ教会副牧師解任
	2008年4月1日付	渋谷聖公会聖ミカエル教会牧師任命
執事 トマス日高馨輔	2008年3月31日付	牛込聖公会聖バルナバ教会牧師補解任
		定年により退職
司祭 ヨハネ佐藤信康(退)	2008年4月1日付	聖愛教会囑託司祭委嘱
関口美佐穂	2008年1月15日付	聖職候補生認可
<信徒奉事者認可および分餐奉仕許可>		
(聖オルバン教会)	2007年12月11日付	レイチェル・クレア・バーデット(2008年3月31日まで)
(聖マルコ教会)	2008年1月15日付	武重瑛子(任期:2008年3月31日まで) 浅井国貴、戸川達男、中村真希、松本尚夫 (任期:2009年3月31日まで)

横浜

聖職候補生ペテロ八城 晃	2008年1月25日	執事に按手される
執事 ペテロ八城 晃	2008年1月25日付	川崎聖パウロ教会牧師補に任命する。
聖職候補生 ジェローム村上守旦	2008年1月25日	執事に按手される
執事 ジェローム村上守旦	2008年1月25日付	柏聖アンデレ教会牧師補に任命する。
聖職候補生 パウロ友寄景方	2008年1月25日	執事に按手される
執事 パウロ友寄景方	2008年1月25日付	横浜聖アンデレ教会牧師補に任命する。

中部

司祭 イグナチオ丁 胤植	2008年3月31日付	新潟聖パウロ教会牧師、三条聖母マリア教
--------------	-------------	---------------------

		会管理牧師、長岡聖ルカ教会管理牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	長野聖救主教会牧師に任命する。
司祭 エリエゼル中尾志朗	2008年3月31日付	松本聖十字教会牧師、福島教会管理牧師、飯田聖アンデレ教会管理牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	新潟聖パウロ教会牧師、三条聖母マリア教会管理牧師、長岡聖ルカ教会管理牧師に任命する。
司祭 ペテロ渋澤一郎	2008年3月31日付	長野聖救主教会管理牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	松本聖十字教会管理牧師に任命する。
主教 フランシス森 紀旦	2008年3月31日付	飯山復活教会管理牧師の任を解く。
司祭 テモテ野村 潔	2008年3月31日付	新生礼拝堂管理牧師の任を解く。
司祭 パウロ松本正俊	2008年3月31日付	新生礼拝堂副牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	新生礼拝堂牧師、飯山復活教会管理牧師に任命する。
司祭 イサク伊藤幸雄	2008年4月1日付	飯田聖アンデレ教会管理牧師に任命する。
聖職候補生 フィデス金 善姫	2008年4月1日付	松本聖十字教会管理牧師司祭ペテロ渋澤一郎のもとで勤務することを命じる。
司祭 ヨセフ下原太介	2008年4月1日付	福島教会管理牧師に任命する。
司祭 ヨシュア鈴木光信(退)	2008年4月1日付	司祭エリエゼル中尾志朗のもとで、三条聖母マリア教会において囑託司祭として勤務すること、及び長岡聖ルカ教会において主日勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 パウロ西澤誠太郎(退)	2008年4月1日付	司祭テモテ土井宏純のもとで、稲荷山諸聖徒教会において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 マルコ中西庄之助(退)	2008年4月1日付	司祭マルコ箭野眞理のもとで、豊田聖ペテロ聖パウロ教会において、主日勤務することを委嘱する。(任期1年)
大阪		
<信徒奉事者認可>	2008年1月1日付	(守口復活教会)アクラ上坂征憲
神戸		
司祭 シモン原田佳城	2008年3月31日付	徳島インマヌエル教会牧師および鳴門聖パウロ教会管理牧師ならびに富岡キリスト教会管理牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	明石聖マリア・マグダレン教会牧師に任命する。
司祭 パウロ瀬山公一	2008年3月31日付	明石聖マリア・マグダレン教会牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	徳島インマヌエル教会牧師および鳴門聖パ

		ウロ教会管理牧師に任命する。
司祭 トマス河村博之	2008年3月31日付	呉神愛教会副牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	富岡キリスト教会牧師に任命する。
司祭 バジル八代 智	2008年4月1日付	学校法人八代学院への出向期間を延長する。期間2008年4月1日～2010年3月31日まで。
司祭 アンデレ松尾常雄(退)	2008年4月1日付	主教アンデレ中村豊管理のもとで、呉神愛教会において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
聖職候補生 ヨシュア長田吉史	2008年4月1日付	司祭オーガスチン小林尚明のもとで、広島復活教会勤務を命ず。
聖職候補生 オーガスチン與賀田光嗣	2008年4月1日付	司祭ヨハネ芳我秀一のもとで、神戸聖ミカエル教会勤務を命ず。

《教会・施設》

宗教法人「日本聖公会郡山基督教会(京都)

2007年12月28日 宗教法人「日本聖公会京都教区」に合併し解散

(福)三光事業団 ひかり保育園(大阪)

2007年12月31日付 園長富永一恵退任

2008年1月1日付 側垣一也園長就任

(福)三光塾

2008年1月1日付 瀧野真継施設長就任

(福)三光事業団

2008年1月1日付 側垣一也総合施設長就任

合意声明『マリア—キリストにおける恵みと希望』邦訳刊行 / 聖公会—ローマ・カトリック教会国際対話40周年記念礼拝開催

司祭 西原 廉太(エキュメニズム委員)

「聖公会 - ローマ・カトリック合同委員会」(共同委員長・聖公会:加藤博道東北教区主教、カトリック:岡田武夫東京大司教区大司教)は、去る2月1日、カトリックの東京カテドラル聖マリア大聖堂を会場に、「聖公会 - ローマ・カトリック教会国際委員会(ARCIC)の合意声明『マリア - キリストにおける恵みと希望』の邦訳刊行及びARCIC 40周年を記念して、合同大礼拝を開催した。

当日は大きな聖マリア大聖堂の会衆席が足りなくなるほどの両教会信徒が集まり、日本聖公会東京教区聖歌隊と宮崎カリタス修道女会スモールクワイアの美しい聖歌が響く中、豊かな礼拝がささげられた。また昨年末にエジプト・カイロで開催された世界エキュメニカル関係常置委員会の決議に基づき、ローワン・ウィリアムズ、カンタベリー大主教から特別祝辞も寄せられた。

『マリア - キリストにおける恵みと希望』は、第二期ARCICの最後の教理的合意である。

数ある教理の中でも、アングリカン・コミュニオンとローマ・カトリック教会が合意するのに非常に困難な主題の一つがこの「マリア論」であったことは間違いない。同合意の中では、両教会が共有できるマリア理解を以下のようにまとめている。

マリアという人間に注意を払わず聖書に誠実に向き合うことは不可能である。

両教会は、神と人間を仲介するのはイエス・キリストのみであることを確認する。また、この理解を曖昧にするような、いかなるマリア解釈をも否定する。マリア理解は、キリスト論と教会論と不可分なものでなければならない。

両教会は、神が受肉された母(*Theotokos*)という、マリアの特別な恵みとその召命を承認する。

両教会は、マリアの内に、すべてのキリスト者と教会のための、聖性、服従、信仰の規範を見出す。

アングリカン・コミュニオンとローマ・カトリック教会は、マリアに祈り、マリアを賛美する古代からの伝統を共有している。マリアは、キリスト者とキリストを繋ぐ特別な仲介者である。マリアと諸聖徒を通して祈るという慣習は、私たち両教会の交わりを隔てるものではない。教理における基本的な合意がある場合には、それぞれの教会伝統の中で育まれた敬虔的慣習は許容される。



マリア論をめぐる、聖公会とローマ・カトリック教会間の困難な問題は、ローマ・カトリック教会におけるマリアの「無原罪の宿り」(Immaculate Conception)と「被昇天」(Assumption)を「教義」(dogma)とすることの扱いである。聖公会が、この教義をダイレクトに受容することは今後もほばないと言っても過言ではないであろう。また、マリアに対する崇敬を表現するさまざまな信的的行為がローマ・カトリック教会においては日常的に行なわれているが、アングリカン・コミュニオンに属する大多数の者にとって、それらは馴染みのあるものではなく、マリア理解をめぐっては、両教会間でさらなる対話と相互理解が今後も必要とされるであろう。

この合意をもって、両教会間の対話はさらに第三期へと進められることが、教皇ベネディクト16世とカンタベリー大主教の間で確認されているところである。

訂正 ミスプリントがありました。お詫びして以下のように訂正します。

- ・ 2008年度教会暦・日課表 聖餐式聖書日課 大斎節第4主日(3月2日)
旧約聖書朗読後の詩編 誤)89:19-20 正)89:19-29